

小生が初めて競馬を見たのは、ハイセイコーが中央入りした1973年の有馬記念である。高校1年生のときだった。翌年6月の宝塚記念優勝以降、小生は競馬に嵌まった。それまで、何の考えもなく、ダラダラとした日々を過ごしていたが、頭の中の殆どを競馬が占めるようになった。

あれは、2年生のときだったか、3年生のときだったか、クラスの全員が、日替わりで、みんなの前で何かを披露する、という時間があった。全てのクラスで行っていることなのかどうかは分からないが、担任の岡崎教諭がそう言うので、何かをしなければならなくなった。

競馬以外に何の興味も無かった小生は、赤木俊介著『実録ハイセイコー物語』と、レコードを録音したカセットテープを学校へ持参した。本を朗読した後、「さらばハイセイコー」のB面に収められていた菊花賞の実況を流した。あのと時の同級生の反応とかは、全く覚えていない。他の面々が、他の日にどんな芸を披露したのかも、全く覚えていない。

引退レースとなった1974年の有馬記念では、それまで1番人気か2番人気だったハイセイコーは3番人気に落ちた。1番人気はタケホープだった。タケホープとは八大競走で三度対戦し、いずれもその後塵を拝した。タケホープに勝たなければ、優勝することはできない。そのことが、有馬記念の全てであった。そして、ハイセイコーは頑張つて、クビ差先着した。いつも負けたタケホープにやっとなつて勝つことができた。小生にとつてあの年の有馬記念は、それ以外の何ものでもなかった。

それから二十四年経った1998年、株式会社宝島社から発行された『競馬「感涙」読本』に、ターザン山本氏のインタビューに答える田島日出男元騎手の記事があった。

「有馬記念でハイセイコーに勝った瞬間、どんな気持ちだったか」との質問に、
「やった!」と思つて、ふとスタンドをみると、さらばハイセイコーの曲が流れていたんだよな。
なんだ、あれは! 勝つたのはオレのタニノチカラなんだぞ。ふざけるな、バカ野郎……」
知らなかった。言われてみると、確かに、ハイセイコーとタケホープの5馬身前で、タニノチカラ
が先にゴールしていた。

物事の一面だけ見ていたら、重要なことを見落とすんだ、と思つた。

あの、さらばハイセイコーから四十七年もの月日が過ぎた。田島騎手のように、何かで悲しい思
いをした人や馬たちが、沢山いたことだろう。その人(馬)たちに思いを馳せてみた。

本当なら、当事者に取材できたらもっと良いモノができるのだろうが、そういうコネクトを持ち合
わせていない。全て、新聞や雑誌などから勝手に想像したものである。ケーバ絡みで最近思い浮かぶ
のは、喜ばしいことは少なく、逆のことばかりである。

二〇二二年三月

目次

日本競馬に悲しみが止まらない

第1章 目標のGⅠ級レースに出られなかった馬

- 1 | 43位のクワアサジロウ……………10
- 2 | 名前さえ載らなかったナエポルラ……………11
- 3 | オープン実績馬の除外、中でも気の毒なポルトファイノ……………12
- 4 | ベストメンバーの悲劇……………16
- 5 | あんなルールがなければ…(トウフクツバキほか)……………19
- 6 | 俺も恥ずかしいってことか?……………22
- 7 | 2レースに出て、ズルいよ……………24
- 8 | もしもロードフォレストアに出走権があれば……………26
- 9 | レジェンドハンター(骨膜炎と捻挫で……………28
- 10 | 可哀想なレガシワールド、ブロケード……………29
- 11 | 衝撃のトップロード除外……………33
- 12 | 玉を取られたハッピールック……………36
- 13 | エルノヴァの怪……………40
- 14 | 史上最悪のクラレント除外(古馬体系変革によって起こった高齢馬の厚遇)……………43
- 15 | レーティング2位のバッドボーイが……………49
- 16 | 地方馬だと出走できるのに、中央だとダメなのは何故?……………50

- 17 |ゼンノエルシドはいいモノを持っていたが……55
- 18 |ダイイチ親子、その他多数……58
- 19 |ギネス申請に値する「王室のガン」……62
- 20 |天然記念物なのに……64

第2章 気の毒な馬券購入者

- 1 |1986年11月の悪夢……68
- 2 |3着同着の功罪……75
- 3 |2012年室町ステークスのあんまりな配当……79
- 4 |マインドユアビスケットの複勝が……81
- 5 |ダービーでハイセイコーの単を買った人……82
- 6 |ロンググレイス、クライムカイザー、ニットウチドリの単勝を勝った人……85
- 7 |トウコウエルザ、ヒシミラクルの単勝を買いそびれた人……88
- 8 |プラス10開始後に起きたこと……91
- 9 |ペルシアンキングの複が……97
- 10 |へビートザクロック何で1.8倍なん？……99
- 11 |意味不明の日本語……101
- 12 |2780円の差はひどいよなあ……106
- 13 |地方の無茶苦茶な枠単……107

14 | コスモバルクはハルウララより下なのか? …… 109

第3章 可哀想な馬

1 | ビーフジャーキーのCMで京都牝馬特別を思い出す …… 113

2 | ランニングフリーが果たしたレアな記録 …… 116

3 | 場内タオルのコスモバルク …… 119

4 | 来る前に分らんかったんかい …… 121

5 | もしもフルゲートが昔から18頭立てだったら …… 125

6 | 何てことを言うの (マイナーと言われた馬たち) …… 129

7 | 可哀想なオベック …… 132

8 | ファインニッセイ (芦毛馬の乙女心を推察する) …… 136

9 | 可哀想な馬セラ (やっとな授かった「福瀬」が …… 139

10 | 皐月賞が予定通り行われていたら (ナニワライト、ケイシユウフオード …… 142

11 | ダービー馬が障害馬に6連敗 …… 146

12 | 安田記念2着のアルマダが23戦1勝? …… 148

13 | アドマイヤバガの生涯を振り返って思うこと …… 150

14 | サラブレッド射殺事件で思い出す、あの馬 …… 156

15 | ステイゴールドだって小さかったじゃん …… 161

16 | ファーディナンドの廃用 …… 164

- 17 | キングジョージの勝ち馬アラムシャーが…… 166
- 18 | 意味のないSEXをした馬…… 168
- 19 | ソルティンゴWFFJシャシャさん…… 170

第4章 可哀想な人

- 1 | あまりに増沢騎手が気の毒で…… 175
- 2 | 何で岡部ブリザード??…… 176
- 3 | ナムライナズマで出ておけばよかったのか (熊沢騎手) …… 177
- 4 | とにかく可哀想な栄三郎騎手…… 179
- 5 | 安田富男騎手の失意…… 183
- 6 | ロング2頭、その他多数にガツカリした…… 184
- 7 | Dream Horses 2000 を見て…… 187
- 8 | 現れなかったサクラオオノオー…… 189
- 9 | 馬券換金の容疑者…… 194
- 10 | 札幌市民が買えないビール…… 196
- 11 | せっかくトライアルで上位に来たのに…… 197
- 12 | ホオジロザメとマーメイド…… 198

おことわり(本書の基本)

【年齢】

基本的に現在の表記に統一しています。

【用語の説明】

- ・ 八大競走：桜花賞、オークス、皐月賞、ダービー、菊花賞、天皇賞(春・秋)、有馬記念
- ・ GI級レース：JRAで行われた次のレース
 - 1984年以降の平地のGI(2歳戦を除く)
 - 1983年以前の八大競走、ビクトリアC(またはエリザベス女王杯)、宝塚記念、ジャパンC
- ・ 交流GI：地方で行われるGIまたはJpnI(2歳戦を除く)
- ・ 別定：ハンデ戦を除く競走
- ・ 断念：出走馬決定順が下位で、諦めて出馬登録を行わなかった場合
- ・ 出走できなかった馬：除外された馬及び「断念」した馬
- ・ オープン実績：重賞連対またはオープン1着

【データの期間(断りがない場合)】

レース：1973年～2021年10月24日まで

交流GIの配当：1997年6月～2021年10月

種牡馬の種付：2020年まで